

広告料金(遺言特集特別料金)		
① 4C2P タイアップ: 350万円 (通常実施価格:388万円) ※制作費込の企画特別料金	② 4C1P 純広告 + 4C1P タイアップ: 340万円 (通常実施価格:368万円) ※制作費込の企画特別料金	③ 4C1P タイアップ: 180万円 (通常実施価格:194万円) ※制作費込の企画特別料金
④ 4C2P 純広告: 328万円	⑤ 4C1P 純広告: 164万円	⑥ 1C1P 純広告: 95万円

※連合広告企画の体裁になりますのでタイアップ広告の誌面デザインは統一させていただきます
※企画末尾には読者アンケート&資料請求連合ハガキをおつけします ※1P広告掲載の際には広告対向になる可能性があります

お申込締切日	タイアップ広告スケジュール(予定)
純広告 4月30日(金)	4月23日(金) オリエン
タイアップ 4月23日(金)	~4月28日(水) 取材・撮影
※純広告の原稿は2021年5月21日(金)までに JMPA準拠データにてご用意をお願いします。	5月12日(水) 初校ご提出
	5月17日(月) 初校お戻し
	5月19日(水) 色校ご提出
	5月21日(金) 色校お戻し→校了
	6月10日(木) 発売日(予定)

大好評! オプション企画 **オンライン開催です**

「文藝春秋 遺言オンラインセミナー」へのご協賛

開催日時	7月上旬
開催場所	オンラインライブ開催 (収録は文藝春秋またはリモートにて)
募集人数	読者を1000名ご招待
セミナー内容	第1部:基調講演(著名人の講演会) (過去の基調講演:五木寛之氏、藤原正彦氏、佐藤優氏、浅田次郎氏、茂木健一郎氏) 第2部:協賛社セッション(1社30分)
ご協賛メリット	①「文藝春秋」掲載広告ページの抜き刷りを5000部サービス ②「文藝春秋」への募集告知(誌面にて2P&定期購読者への同梱チラシ)・セミナー後「文藝春秋digital」に記事掲載 ③協賛社セッションへのご参加(1社30分、リモートの参加も可能) ④セミナー応募者および参加者リストのご提出(個人情報提供に同意してくださった方のみ)
ご協賛料金	1社あたり120万円 (カラー2P以上ご出稿の企業様に限定しております) ※先着3社限定となります(協賛企業3社での開催とさせていただきます。原則として一業種一社限定です)

文藝春秋digital誕生! 質の高いデジタルユーザーへも訴求が可能!

シェアしたくなる教育メディア

文藝春秋digital

2019年11月にクリエイターのためのメディアプラットフォームnote上にて文藝春秋digitalが誕生しました。現在フォロワーは約19,000人(2021年2月現在)。着実に成長を遂げているメディアです。こちらのサイトでも転載可能です。

- 記事と同様のフォーマットにてタイアップ転載
- タイアップ掲載時にはフォロワーにタイムラインでご案内
- 掲載中4回はSNSにて発信 多くの人のシェアを目指します

文藝春秋digitalへのタイアップ転載が **30万円**

話題性 影響力 No.1 **文春オンライン**

世の中の「ほんとう」がわかります

月間PV:3億6,058万 月間UU:約3,995万
2020年6~8月平均値

「文春オンライン」タイアップ転載料金 本企画限定サービス

文春オンラインへのタイアップ転載が **50万円1万PV想定**
(14日間期間保証/アーカイブ半年間)

文春オンライン内 資料請求ページ
広告主様問い合わせフォーム
広告主様メルマガ登録フォーム
広告主様ウェブサイト
など、リンク先は自由に設定いただけます。

f popln 等、各外部媒体を使用したブーストもお見積もりいたします(ご予算100万円~)

お問い合わせ先

(株)文藝春秋 メディア事業局メディア事業一部
電話: 03-3288-6176 FAX: 03-3239-5481 HP: <https://www.bunshun.co.jp/ads>

コロナ禍で高まる遺言ニーズ。
元気な今こそ“人生のそなえ”を

想いを伝える「遺言」のススメ

LAST WILL AND TESTAMENT

文藝春秋 **初企画**

資料請求1社あたり
約80~200件の
レスポンス!

金融資産
1億円以上の読者が
約3万人!



資料請求
連合ハガキ
付き!

文春オンラインでの
資料請求フォームも
サービス!

株式会社文藝春秋メディア事業局メディア事業一部

ご挨拶

いつも「文藝春秋」にご支援ご協力を賜りありがとうございます。
日本を代表するオピニオン誌「文藝春秋」は、大正、昭和、平成、令和と100年近くの間、多くのシニア富裕層の方々に愛読され、発行部数は約40万部と唯一無二の国民雑誌として社会的影響力を確固たるものにしていきます。おかげ様で昨年より実売部数を大幅に伸ばし、多くの方々にご支持いただいております。

「文藝春秋」の読者は60歳以上の超富裕層が中心。1億円以上の資産をお持ちの方々も約3万人いらっしゃりご自身の資産について今後どのように引き継ぎ相続していくのか、常に悩まれている方々ばかりです。

コロナ禍となり、ウイルスと隣り合わせの日々を過ごす中で、今「遺言」について改めて考え、検討する方が増えています。人生100年時代、元気なうちにこそ備えは必要です。「遺言」は家族をはじめ残された方々への思いやりでもあります。「文藝春秋」では昨年より遺言に関するオンラインセミナーを実施しておりますが、いずれも1000名をはるかに超える方々のご参加があり、相続・贈与・遺言に対する読者の関心の高さがうかがえました。

「文藝春秋」では長年相続特集を実施してまいりましたが、今回は「遺言」「遺言書」にポイントを絞り、特別企画として掲載いたします。遺言書の書き方、遺言信託、家族信託、エンディングノート、遺贈・寄付…。家族が多様化する中で遺言の在り方も様々な形になっています。昨年7月に開始された自筆証書遺言書保管制度をはじめ、自らの想いを遺すための遺言を書く際のポイントや遺言にまつわる商品・サービスについて詳細に紹介する「文藝春秋」初の企画となっております。また、オプションにて好評のオンラインセミナーも実施予定です。ぜひ貴社の広報宣伝活動の一環としてご活用賜りますようお願い申し上げます。

文藝春秋について

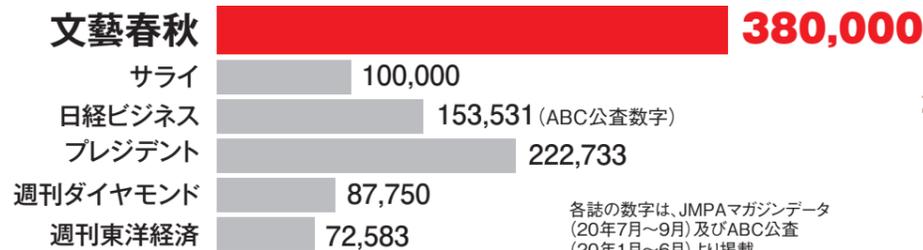
【創刊】大正12年(1923年)1月
【発売日】毎月10日
【定価】960円(税込)

【平均発行部数】

380,000

(JMPA印刷証明付:20年7月~9月平均)

〈2020年7月~9月までの平均発行部数 JMPA印刷証明付〉



各誌の数字は、JMPAマガジンデータ(20年7月~9月)及びABC公査(20年1月~6月)より掲載

男女比 読者の男女比は58%:42%。女性読者も多く、夫婦で読まれる雑誌といえるでしょう。



年齢比率 40代以下 23.7% 50~60代以上 76.3%



企画概要

掲載月号 月刊「文藝春秋」2021年7月号(6月10日発売)

企画構成 遺言特集 編集ページ3P(扉ページ含)+広告ページ ※3社以上で企画成立となります。
☆アンケートページ+資料請求ハガキがつきます(編集ページのページ数は変更になる場合がございます)。
☆文春オンライン上でもアンケートの受付をいたします。

想定企業商品 各金融機関(信託銀行、地方銀行、証券会社など)、プライベートバンク、会計事務所、税理士事務所、弁護士事務所、司法書士事務所、相続コンサルティング、遺言信託、家族信託、不動産企業、事業承継、M&A、非営利団体(NPOなど)の寄付・遺贈

誌面展開案: 特別広告企画「想いを伝える遺言のススメ」

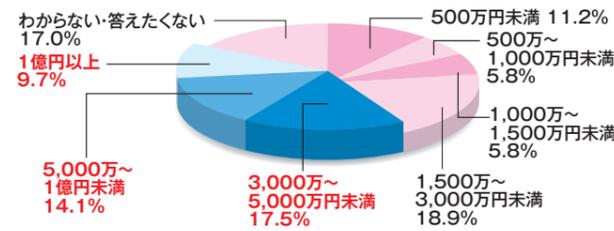


「文藝春秋」読者は多額の金融資産を持ち相続に悩む

60代以上の超富裕層が中心です

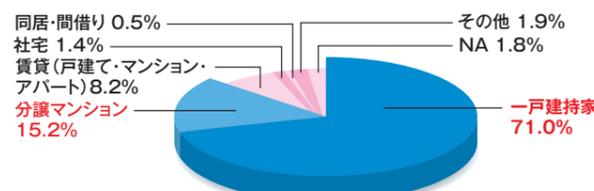
文藝春秋「金融・相続特集」読者アンケート、媒体資料、セミナーアンケートより

●資産・投資額



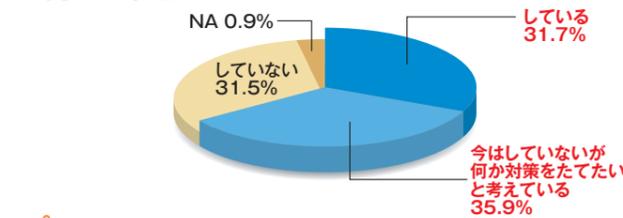
貯蓄額が1億円以上の超富裕層が9.7%(約3万人)。3,000万円以上の富裕層が42%(約13万人)。

●今の居住形態



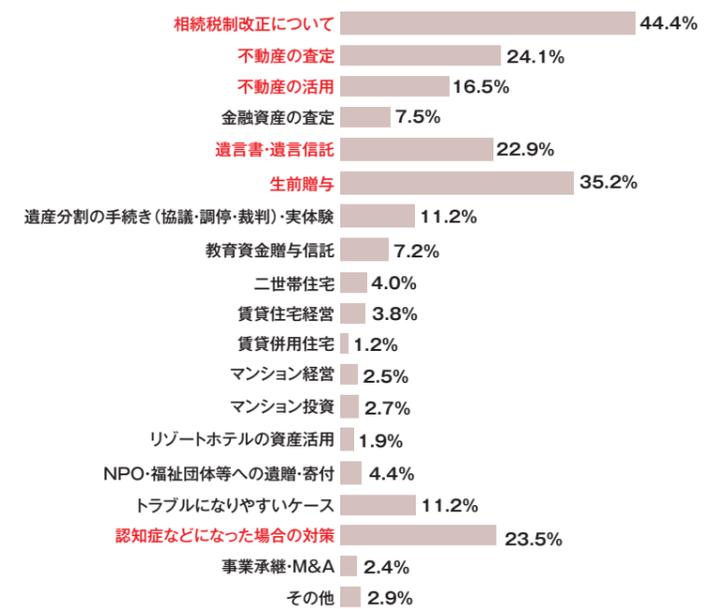
持ち家率は8割以上。

●現在相続に関して、ご自身で知識を得たり相談をしているか



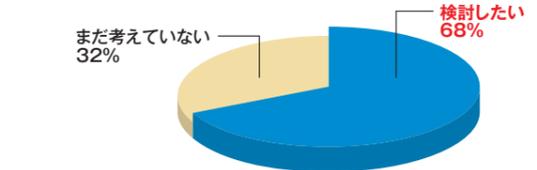
6割以上の方が相続対策をしたり検討をしています。

●相続に対して関心のあること



相続税制改正や遺言信託、生前贈与、認知症などになった場合の対策、不動産の査定・活用に興味を持っています。

●遺言書の作成について



約7割の方が遺言書の作成を検討しています。

ハガキとオンラインで「資料請求」を実施します。
読者の感想もすべて資料請求リストに反映させ、個人情報データをお渡しいたします! (潜在的顧客の情報を確実にお渡します!)

毎回読者からの多くのご感想・反響をいただいている大好評の連合企画です(感想例)

遺言に関するオンラインセミナーでのアンケートより

- 子供がいませんが、自分の生前の意思を反映できるような団体への寄付を考えています。
- コロナウイルス感染症の猛威が衰えない中で、自分の死が身近になったように感じます。自分の死後に子供たちが争族とならないよう、いまから遺言を書いて備えたいと思っておりますが、具体的に何をすべきかわかりません。ぜひご教示ください。
- 公正証書遺言を書いて安心かと思っておりましたが、遺言には遺言執行者が必要ということが理解できました。遺言信託など専門家のお力も借りたいと思います。

相続や生前贈与、遺言など真剣に考えている読者に向けていち早くアプローチ可能です!
「資料請求ハガキ」1社あたり約**80~200件**のレスポンス!

読者からの反響がきっかけで実際の成約に結び付くケースも多数ございます。